## 2023年度医科学概論・特論(実技指導セミナー)開講講座

履修希望者は、希望順位を履修希望順位欄に1~8位まで御記入ください。(1テーマ2~3人の少人数制であるため、希望者が多い場合は調整します。)

学籍	番号	
氏	名	

## 【実技指導セミナー】

日時・場所については、指導教員の指示による。

専攻	履修希望 順位	講座	テーマ	主たる実験手法	指導教員	
		神経機能形態学	STEREOLOGYによる 形態計測	組織標本(2次元)にStereologyを適応して、3次元の立体で粒子の数(例えば細胞数)を評価する方法を紹介する。	教 授 准教授 助 教 助	三木崇範 鈴木辰吾 太田健一 大給日香里
医学専攻		分子神経生物学	病態解析用モデル 動物の作成と利用	精神神経疾患・神経変性疾患・脳梗塞モデルの作成と解析	教 授講 師	山本 融 高橋弘雄
		耳鼻咽喉科学	細胞のイオン輸送 をリアルタイムで 定量する	パッチクランプ法とイオンイメージング	教 授 准教授	星川広史 宮下武憲
		炎症病理学	電子顕微鏡を使っ た実験の進め方	電子顕微鏡での観察のための標本作成	教 授	上野正樹
		皮膚科学	蛍光抗体法の解釈 と実際	ヒト組織検体を用いた蛍光抗体直接法・間接法	教 授	大日輝記
		呼吸器・乳腺内 分泌外科学	siRNAによるノック	細胞核にsiRNAを導入し、ターゲット遺伝子の発現をノックダウンする実験 について、講義と実習を行う。	教 授助 教	矢島俊樹 劉 大革
	小児科学	HPLCの臨床応	高速液体クロマトグラフィーを用いて、内因性及び外因性物質を分析す る。	教 授 講 師	日下 隆 小谷野耕佑	
		71.7L/HT+	近赤外分光法の臨 床応用	近赤外分光法を用いて脳および他の臓器の循環・代謝を評価する。	教 授 学内講師	日下 隆 中村信嗣
		分子生理学		対象となる受容体やイオンチャネルをアフリカツメガエル卵母細胞に発現 させ、電気生理学的にその機能を解析する。	教授	藤原祐一郎
		生化学	脂質代謝酵素の性 状解析	蛋白定量及びウエスタン・ブロッティング	教 授 准教授 助 教	上田夏生 宇山 徹 佐々木すみれ
		総合生命科学	3次元分子モデリ ングの手法を用い たタンパク質・リ ガンド相互作用の 解析	1 タンパク質 X 線結晶解析によって 3 次元構造が決定されていく過程をコンピューター上で観察する。 2 タンパク質・リガント複合体の 3 次元分子モデリングをコンピューター上で行い、分子力学・動力学計算により複合体構造を評価・解析を行う。	教 授 准教授	神鳥成弘吉田裕美
		総合生命科学	DNA塩基配列デー タ解析	DNA塩基配列データのデータベースからの収集、解析方法をコンピューター を用いて実際に行う	教 授 准教授	竹崎直子 岩間久和
		薬理学	体液組成の解析	血中・尿中の電解質と浸透圧の測定、ならびに灰化法による組織中の構成 成分の解析の実技指導する	教 授 助 教 助	西山 成 北田研人 RAHMAN MD ASADUR
		消化器・神経内 科	消化器癌における microRNAの網羅的 解析アレイでの解 析方法	microRNAの網羅的解析アレイでの解析方法	教 授 講 師	正木 勉 小原英幹 森下朝洋
		泌尿器科学	CD-DST法による抗 がん剤感受性試験	コラーゲン・ゲル・ドロップ培養法で抗癌剤感受性を評価する	教 授 助 教	杉元幹史 張 霞
		眼科学	糖尿病網膜症の分 子メカニズム	網膜虚血および緑内障モデルの作成	教 授講 師	鈴間 潔 山下彩奈
		内分泌代謝・先 端医療・臨床検 査医学	細胞への遺伝子導 入法		教 授 准教授 助 教	村尾孝児 井町仁美 福長健作
		免疫学	フローサイトメト リーの原理と実際	フローサイトメトリーを用いた細胞表面抗原の評価	教 授 助 教	星野克明 仁木敏朗
		公衆衛生学 衛生学	生物統計学への招待	研究で使用する基本的統計処理手法について解説し、サンプルデータを用 いた実技指導を行なう。	教 授 准教授	平尾智広 宮武伸行